

81 西部井堰 (黒田庄町船町)

みどころいっぱい・西脇 ふるさと探訪



▲現在の西部井堰



▲加古川西岸を奥に入ったところの記念碑 (三ヶ村井堰)



昭和15年(1940年)には近代的な井堰改修に着手し同18年(1943年)に完成。老朽化から平成4年に現在の可動式井堰へと生まれ変わり、黒田庄町西澤・大伏を加えた「五ヶ村」を潤しています。

西部井堰は市の北端、加古川と篠山川の合流点のすぐ下流にあります。平成5年(1993年)建立の碑には「起源は遠く足利時代に常堰の許可を取得した」とあります。寛文13年(1673年)の本格的な築造後は、黒田庄町船町・田高・石原の三ヶ村を潤す大規模な井堰となりました(三ヶ村井堰)。

一方で、舟座の通船の繁栄とともに、井堰が舟運の妨げとなったことから、紛争が長く続いたと言われています。

編集室から

今月の広報はトライやる・ウィークで秘書広報課を希望してくれた中学生4人が特集記事(2から5ページまで)にチャレンジ。私も彼らの取材に同行し、受け入れに協力いただいた多くの事業所を訪問。子どもたちの姿を遠目で見ていた私にある事業所の方が話かけてくださいました。「トライやる・ウィークって長く続けるけど、何を学びに来てるのだろう…マンネリ化してませんか?」その言葉に一瞬驚き、この体験の意味を改めて考えさせられました。「将来この職業に就いてもらいたいと思っているわけではない。あいさつや言葉遣い、時間の大切さなどを学んでほしい」と続けられました。あいさつや時間を守ることは社会人としての基本。地域の優しさだけでなく、厳しさを伝えることも必要だと感じました。

さて7月。年に1度、彦星と織姫が出会う七夕は、願い事を書いた短冊を笹竹に結ぶ風習がありますね。皆さんなら今、どんな願い事を結ばれますか。【M】

今月の一枚



消防操法大会で全力疾走する選手、それに並走する審査員も体力勝負。出場された選手、審査を担当された消防署員の皆さんお疲れさまでした。

発行/西脇市
編集/総務部秘書広報課

〒677-8511 西脇市郷瀬町605
TEL.0795(22)3111 FAX.0795(22)1014
西脇市HP/ <http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp>

西脇の自然

クマヤナギ (くろうめもどき科)

西脇市動植物生態調査 研究グループ



クマヤナギと和名がついていますが、ヤナギの仲間ではありません。谷川沿いや川岸、山地の林縁などに自生するつる性の落葉低木で、ほかの木にからまって上に延び、7月から8月ごろ枝先に小さな黄緑色の花を多数つけます。

花が終わると写真のように房状の実をつけますが、最初は緑色から赤色になり、翌年に完全に熟して黒色に変化します。

昔から薬草としても知られており、夏から秋にかけて葉と茎を採ってきて、細かく切って日干しにし、それを煎じて服用すると優れた利尿効果があるようです。

西脇多可休日急患センター

- ◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
- ◆診察日 日曜日
(年末年始を除く)
午前9時~午後5時
- ◆問合せ ☎23-5380

※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。
必ず健康保険証を持参ください。

7月の出務予定医師	
7月 1日(日)	柳井 映二 先生
7月 8日(日)	矢持 健 先生
7月15日(日)	大隅 昭幸 先生
7月22日(日)	上田 正生 先生
7月29日(日)	伊藤 通男 先生